

浜松市小規模水道工事事務取扱要領

1 目的

この要領は、工事の施工に伴って提出される書類の省略等、諸手続を簡略化し、事業の効率的な執行を図ることを目的とする。

2 適用範囲

- (1) 浜松市上下水道部が施行する請負代金額が 1,000 万円未満（補助事業を含む。）の水道工事（以下、「小規模工事」という。）に適用する。ただし、小額工事を除く。
- (2) この要領に記載されていない事項については、浜松市水道工事共通仕様書を適用する。

3 提出書類

(1) 使用材料の承諾書

受注者の作成する使用材料の承諾書は、省略することができるものとする。

(2) 工程表

受注者の作成する工程表の提出は、浜松市上下水道部建設工事執行規程で準用する浜松市建設工事執行規則第 19 条によるものとする。

(3) 現場代理人・主任技術者通知

現場代理人・主任技術者の通知書は、浜松市上下水道部建設工事執行規程で準用する浜松市建設工事執行規則第 21 条によるものとする。

(4) 施工計画書

受注者が提出する施工計画書は、別に定める小規模工事の記入例によるものとする。

4 施工管理

(1) 出来形管理

出来形管理は、浜松市水道工事共通仕様書基準編に定める水道工事施工管理基準により行うものとする。これにより難き場合は、監督員と協議のうえ決めるものとする。

(2) 品質管理

品質管理は、浜松市水道工事共通仕様書基準編に定める水道工事施工管理基準により行うものとする。これにより難き場合は、監督員と協議のうえ決めるものとする。

(3) 写真管理

写真管理は、浜松市水道工事共通仕様書基準編に定める工事記録写真撮影基準により行うものとする。これにより難き場合は、監督員と協議のうえ決めるものとする。

5 小規模工事における監督員・受注者等

受注者は、工事の施工に当たり自主管理体制（工程、出来形、品質、写真、交通、安全等）を確立し、施工管理に責任を持つものとし、監督員はそれを指導するものとする。
また、工事の施工に当たり疑義が生じた場合には、監督員と協議するものとする。

なお、自主管理とは、受注者が工事目的物の品質、精度を適正なものとするため、浜松市水道工事共通仕様書及び、同資料編の各基準類の規格に適合するよう、社内検査を行う等、自らが管理（コントロール）することをいう。

6 小規模工事の検査

検査職員は、浜松市上下水道部契約規程で準用する浜松市契約規則第 35 条による。工事成績評定及び通知書は、浜松市工事成績評定要領第 2 による。

附則

この要領は、平成 22 年 6 月 1 日から施行する。

附則

この要領は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この要領は、平成 26 年 10 月 1 日から施行する。

附則

この要領は、令和 2 年 3 月 1 日から施行する。

あくまでも記入例です。
現場に則した内容とすること。

年 月 日

施 工 計 画 書

総括監督員

様

受注者

現場代理人

印

年度

工事 施工計画書について(提出)

標記について浜松市水道工事共通仕様書、第1章第1節 1-1-3 に基づき提出します。

目 次

1.現場組織表
2.安全管理
3.緊急時の体制
4.交通管理
5.主要資材一覧表
6.施工管理
7.再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
8.創意工夫等
9.その他

工程表については浜松市上下水道部建設工事執行規程で準用する
浜松市建設工事執行規則第 19 条による

1.現場組織表

現場事務所

静岡県浜松市

区

町

TEL

()

現場代理人

[]

夜間連絡先

TEL ()

主任技術者

[]

夜間連絡先

TEL ()

工事主任

[]

工程管理

[]

品質管理

[]

測量・出来形・写真管理

[]

機械・電気主任

[]

重機管理

[]

電気管理

[]

事務主任

[]

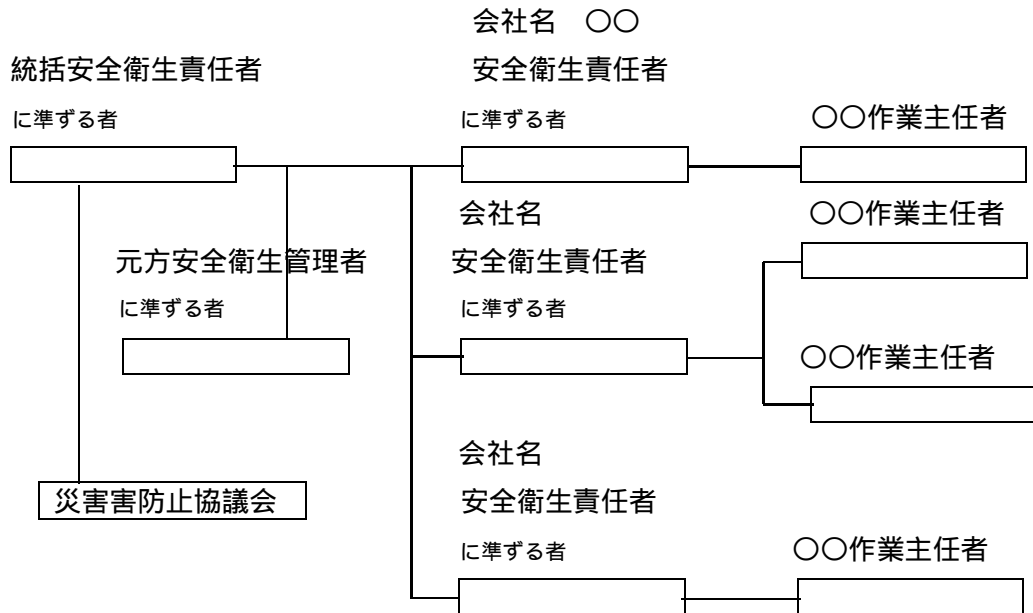
2.安全管理

〔1〕工事現場における作業員の安全と健康を確保し快適な作業環境の形成を促進するため、また工事関係者に限らず第三者への危害等（公衆災害）の絶無のため、施工業者一体となった責任体制の確立を図るとともに、労働者に対する安全指導を徹底する。

〔2〕安全管理実施事項は、以下のとおりとする。

- ・ 現場内へは第三者の立入りを禁止する措置を講ずると共に、通学時の生徒・児童らへの安全を図るように注意し、立看板を設置する。
- ・ 現場内の整理整頓に努め、機械器具及び車両を点検記録し、保安帽等の保護具の着用使用を徹底する。また、パトロールを定期的を実施し、安全管理に関する指導をする。

（安全衛生管理体制）



注意

「中規模建設工事現場における安全衛生管理指針」（平成5年3月31日付け基発第209号労働省労働基準局長 中規模建設工事現場における安全衛生管理の充実について）に基づく、安全衛生管理の例を示す。

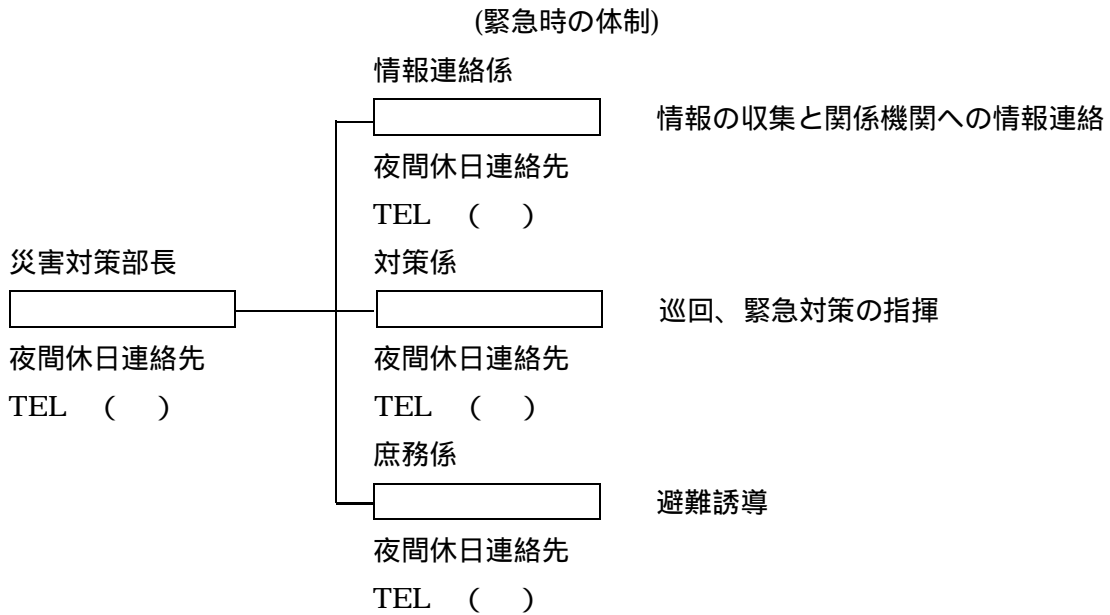
ここでいう中規模建設工事現場とは、概ね労働者数10～49人規模の建設工事現場（統括安全衛生責任者又は店社安全衛生管理者の選任が義務付けられている建設工事現場を除く。）のことである。

〔3〕事故発生時における連絡系統は、3の〔2〕に定める緊急時の連絡系統図と同じとする。

3.緊急時の体制

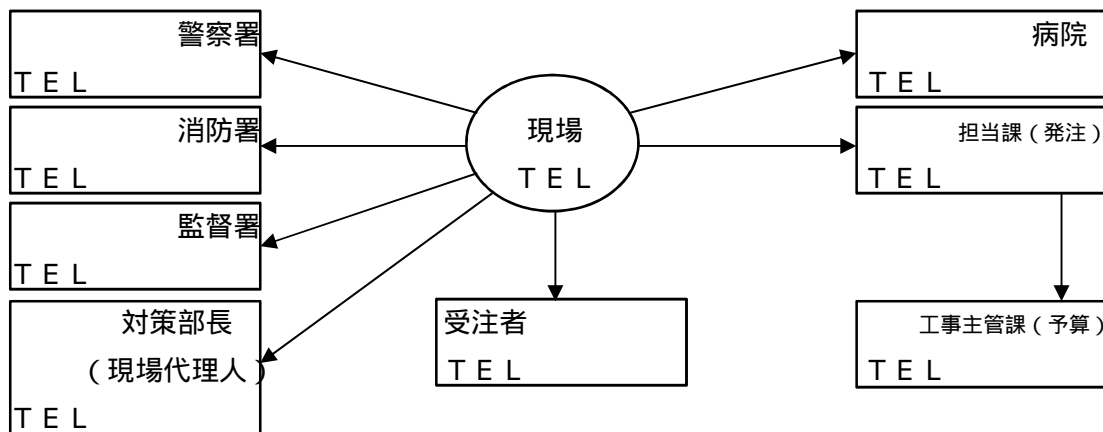
〔1〕大雨、出水、強風等の異常気象で災害発生のおそれがある場合、次の緊急時の体制に入り必要に応じ現場内をパトロールし、警戒する。

なお、非常時に備え現場には土嚢、工具、照明器具等を常備する。また、作業現場内において事故発生、又はそのおそれがある場合、作業時間内はただちに緊急時の体制に入り各担当職務に応じて行動する。



〔2〕作業現場内の事故発生時における連絡系統及び夜間又は休日における連絡方法は次のとおりとする。

(緊急時の連絡系統図)



4.交通管理

道路交通関係法令及び土木工事共通仕様書第 1 編共通編 1-1-32 の交通安全管理に関する各項を厳守し事故のないよう特に注意する。また、土運搬、産廃運搬、資材運搬の経路は図 - 1 のとおりである。

なお、運搬は一般道路を通過するため一般通行を優先し通行に支障のないよう十分注意する。また、作業場出入口には交通誘導警備員と各種標識類を配置する。

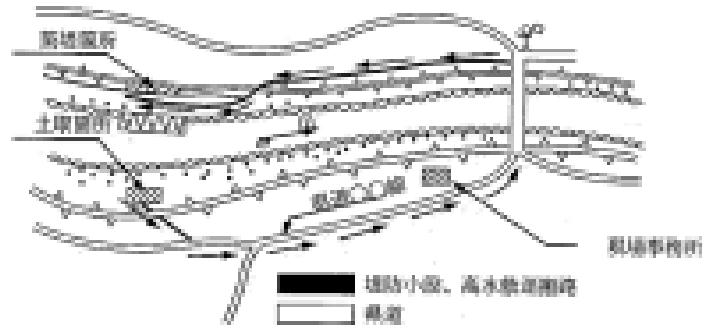


図 - 1 残土運搬、資材運搬の径路

5.主要資材一覧表

品名	規格・寸法	
鋳鉄管直管	〇〇〇×〇m	
	〇〇〇×〇m	
鋳鉄管異形管	〇〇〇×〇〇〇H	
再生下層路盤材	(0-40)	
粒調碎石	(M30)	

6.施工管理

本工事における出来形および品質管理項目と管理基準は別表 〇〇〇 に示す。

7.再生資源の利用の促進

8.創意工夫等

9.その他

別表

出来形管理基準

工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	適用
〇〇工	〇〇	±〇〇	施工延長〇〇m につき〇箇所		
		-			
		-			

品質管理基準

工 種	試験項目	試験方法	規 格 値	試 験 基 準	適用
〇〇工	〇〇	JIS〇〇			
		便覧			